AI ブログ構築講座

半自動化を目指す！

ステップ 1
パソコン
環境編

瞬速 for AI
阿部 真由美著

- ブログに使えるAIツール
- ニュースから記事収集
- SNSへ自動投稿

購入者限定

シークレット特典あり

はじめに

【推奨環境】
このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）
https://www.adobe.com/jp/acrobat/pdf-reader.html

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。
著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

もくじ

第１章：瞬速 AI ブログ構築講座のロードマップ 4
第２章：翻訳や今後の作業が楽になる パソコン環境を整えよう 5
（１）ブラウザは Chrome を使う 5
（２）DeepL 翻訳アプリのインストール 16
（３）クリップボードの履歴が残る Clipboard History （任意） 19

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

第1章:瞬速 AI ブログ構築講座のロードマップ

瞬速 AI ブログ構築講座は、便利な AI ツールを活用し、必要最低限の手間でブログ記事を更新できるようになることを目的とした講座です。

設定事項が多いので、ここで全体像が分かるようにロードマップを記しておきます。

1. パソコン環境の準備
2. ワードプレスを準備する
   （レンタルサーバーの契約・ドメインの契約　※この解説では割愛します）
3. 必要なプラグインをインストール
4. 各プラグインの設定
5. 記事投稿＆リライト
6. SNS へ自動投稿

設定類が多いと感じるかもしれませんが、一度セットしてしまえばルーチンで動いてくれるようになります。

もしかしたら、設定している間にも、もう新記事が投稿されている・・なんてこともあり得ます。

AI を味方につけて、ブログ運営を楽しんでいきましょう！

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

第２章：翻訳や今後の作業が楽になるパソコン環境を整えよう

ワードプレスもそうですが、AI やブログ周りは英語表記がつきものです。
今まで、英文を翻訳サイトへコピペしていた方は、以下の方法でかなり効率的に翻訳ができるようになりますから、まずは環境を整えてください。

（１）ブラウザは Chrome を使う

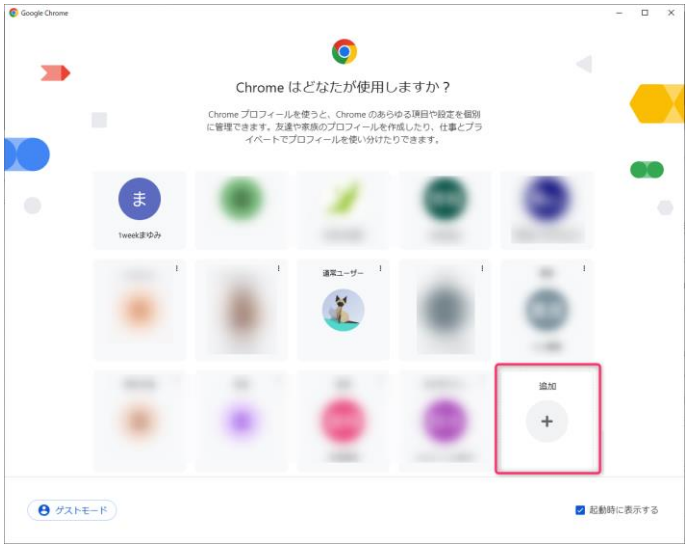
https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/

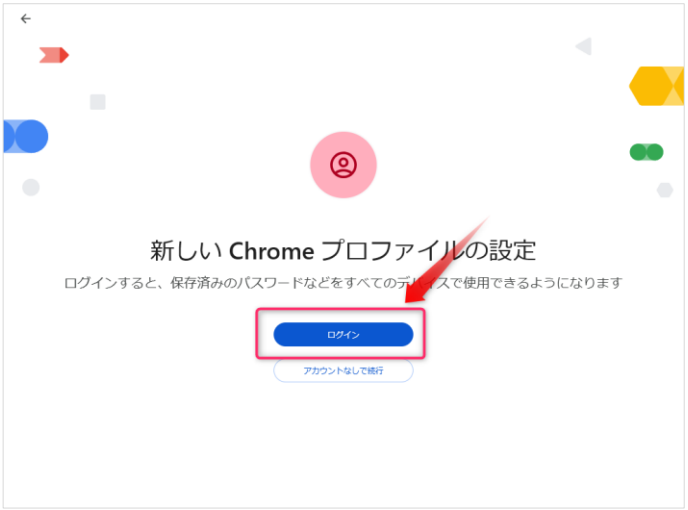
普段、Chrome を使っている人も多いと思いますが、Chrome には表示しているウェブページの翻訳機能があります。

できれば、ブログ用の新しいプロファイルを作ると管理がしやすくなりますので、プライベートと分けることをおすすめします。方法は二つあります。

方法１：Chrome を開くと出てくる画面で「追加」をクリックする

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.





「ログイン」ボタンを押すと、ログイン画面が出るので、お持ちの Google アカウントでログインをするか、「アカウントなしで続行」で進めても構いません。

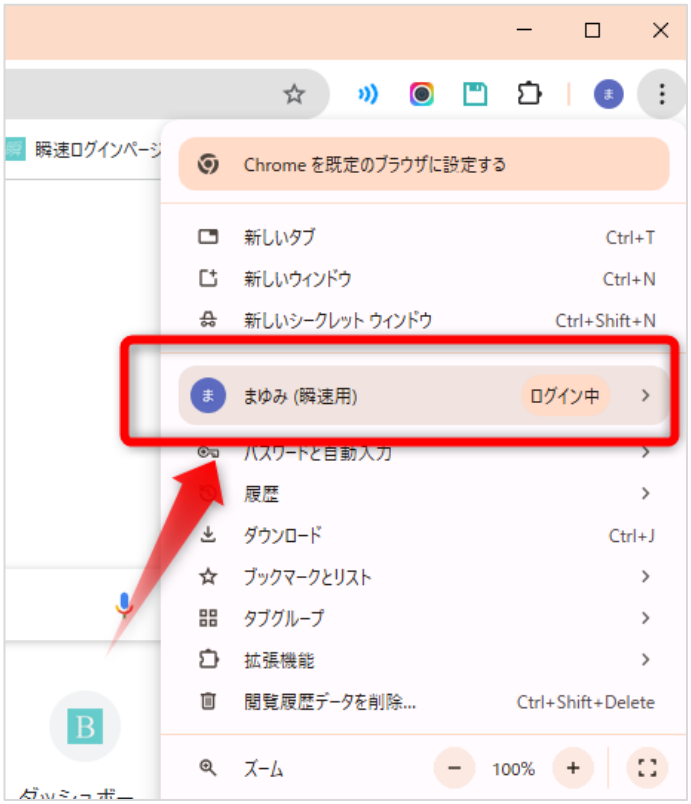
※Google アカウントは、可能ならばウェブ用に新規に取得されることをおすすめします。プライベートと切り替えることができます。

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

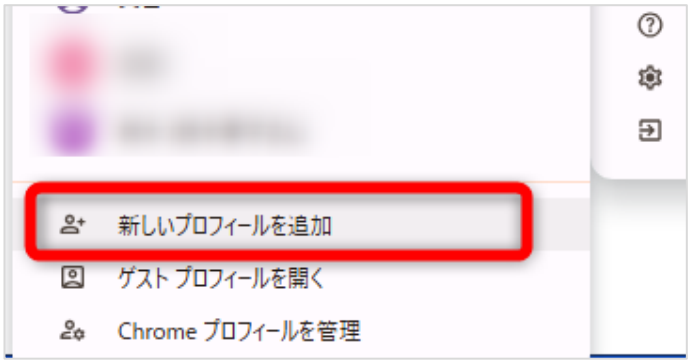
方法２：すでに使っている Chrome 画面のメニューから追加する

Chrome を開きます。右上に表示されている三点メニューをクリックします。

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

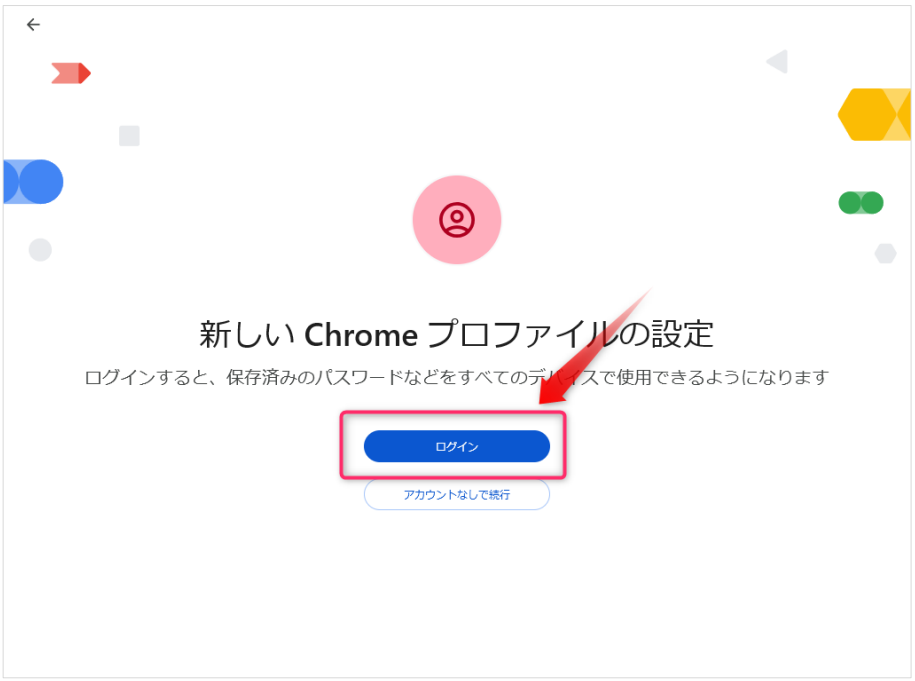


現在ログインしているアカウントにマウスを当てます。
するとログイン可能なアカウントが表示されますが、その中に「新しいプロフィールを追加」というメニューがあるので進みます。



Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

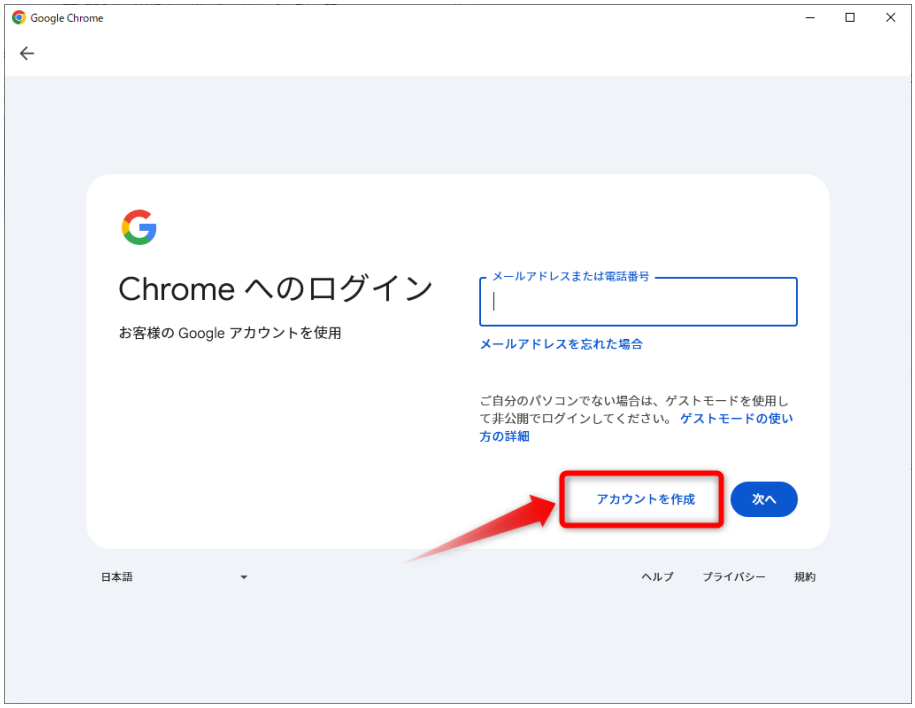
すると、
方法１で紹介したのと同じ画面が出ますので、「ログイン」か「アカウントなしで続行」で進みます。



ログインをすると次に Google アカウントのログインの画面になりますが、「アカウントを作成」にすれば新しいアカウントを取得できます。

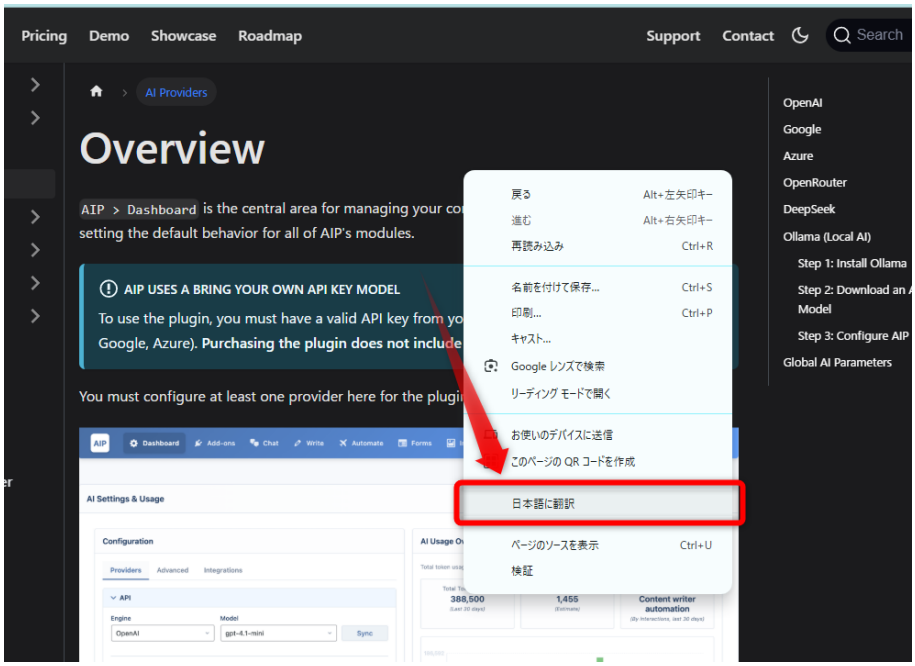
プライベートとウェブと使い分けをしていない方はこの機会に別の Google アカウントを取得されることをおすすめします。

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.



Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

●Chrome の翻訳機能



Chrome を使うと、日本語以外のページを閲覧している最中に右クリック→メニュー「日本語に翻訳」を選択するだけで翻訳済みのページが表示されます。

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

翻訳をしたい文章をコピーして、翻訳サイトへ進むよりも断然楽に翻訳されます。

●Chrome の拡張機能「Keyword Surfer」を追加する

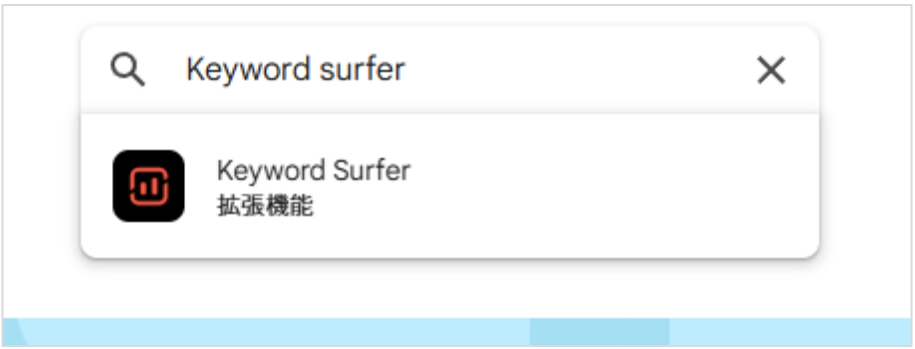
せっかく Chrome を開いたので、ついでに今後使う機能の拡張機能を追加しておきましょう。

Chrome の右上の 3 点マークから、次は「拡張機能」→「Chrome ウェブストアにアクセス」に進みます。

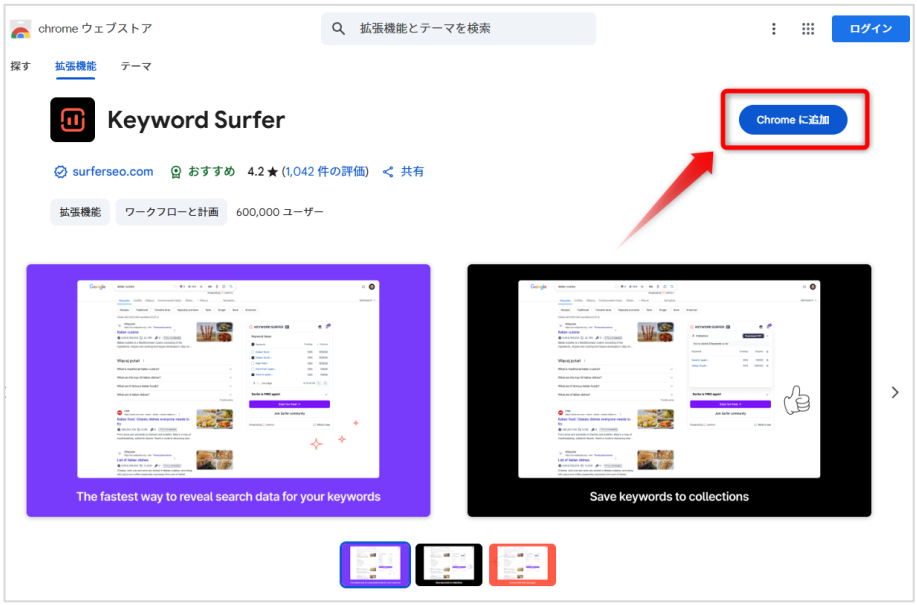
Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

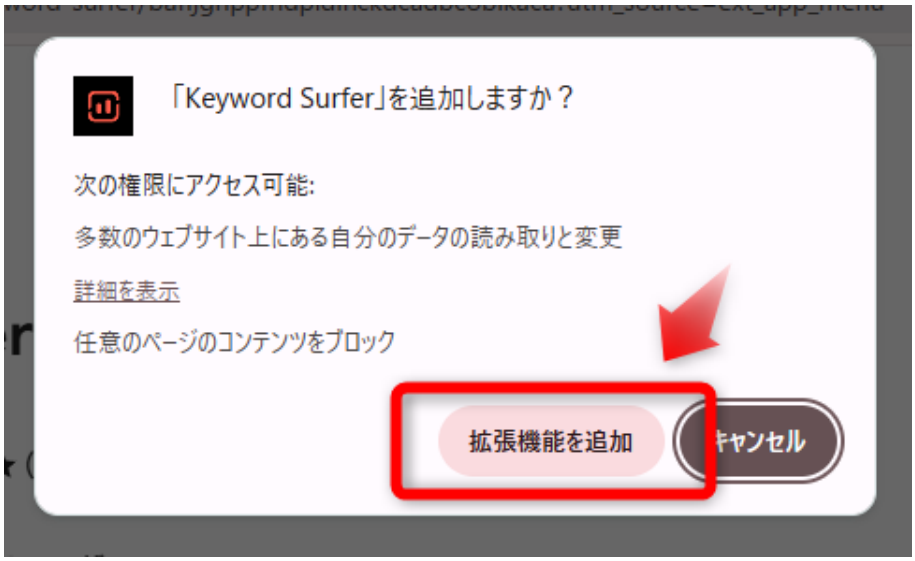
このような画面になるので検索ボックスに「Keyword surfer」と入力してください。表示されたアイコンを選択します。



Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

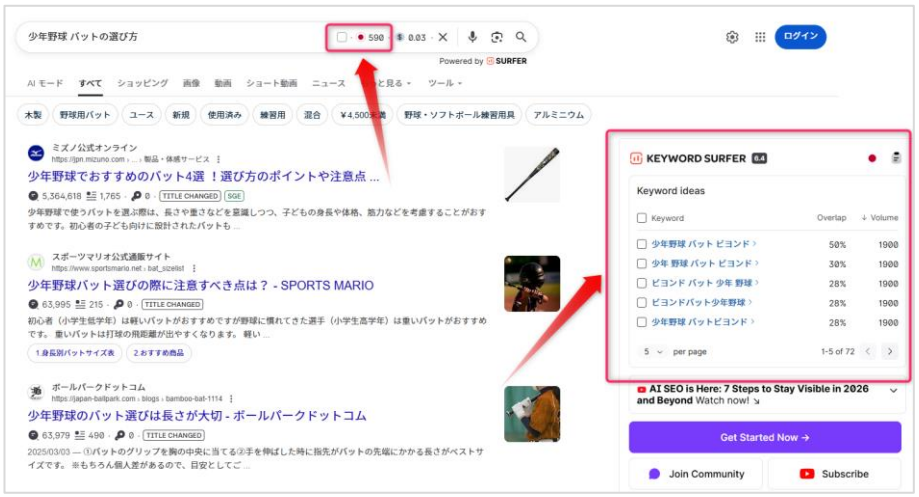


次の画面に出た「Chrome に追加」ボタンを押します。



このような画面が出るので「拡張機能を追加」ボタンを押してください。

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.



「Keyword surfer」を入れると、次回から Google で検索したキーワードに対して、検索ボリュームや関連キーワードが表示されるようになります。

（２）DeepL 翻訳アプリのインストール

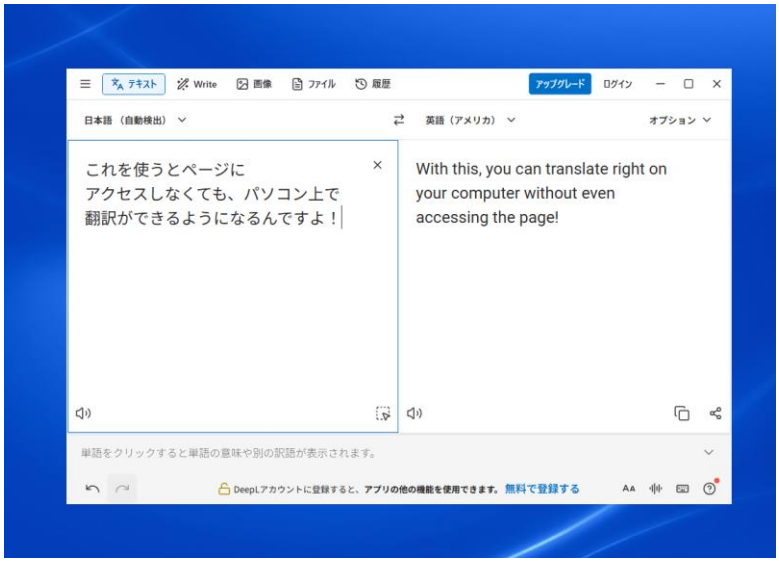
高度な翻訳で有名な「DeepL」というサービスがあります。

https://www.deepl.com/ja/translator

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

本来、ウェブページにアクセスして使うものですが、ローカル環境で使用できるアプリがあるので使えるようにしておきます。

これを使うと、使いたいときにすぐに呼び出して翻訳機能を使えるようになります。英語→日本語、日本語→多国語とシームレスに翻訳が可能になります。



ウィンドウズ版：https://www.deepl.com/ja/windows-app

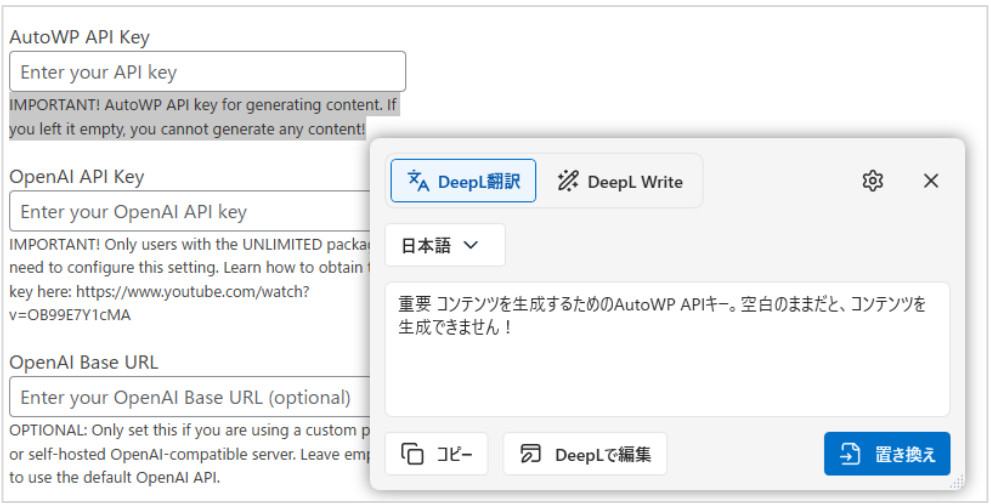
Google Play 版：
https://play.google.com/store/apps/details?id=com.deepl.mobiletranslator&hl=ja

Mac 版：
https://www.deepl.com/ja/macos-app

Apple store 版：
https://apps.apple.com/jp/app/deepl%E7%BF%BB%E8%A8%B3/id1552407475

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

例えば、ワードプレスのプラグインで英語表記だったとしても、文字列を選択すると DeepL のアイコンマークをクリックすると・・



こんな感じでコピペなしにパソコン画面上で翻訳結果が分かるのでとても便利です。

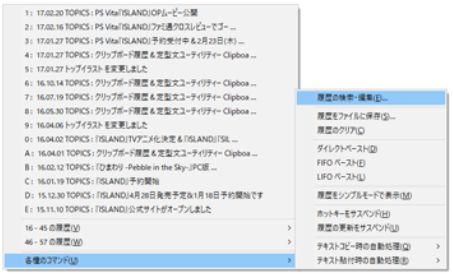
Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

（３）クリップボードの履歴が残る Clipboard History（任意）

コピー＆ペースト作業が続きますので、コピーの履歴が残るフリーソフトをご紹介します。

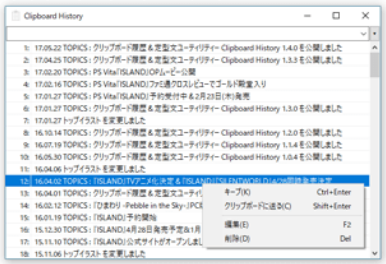
コピーした履歴を 130 個ほど遡れる他、定型文やメールアドレスなどよく使うワードを登録し、すぐに呼び出すことができます。

［クリップボード履歴］

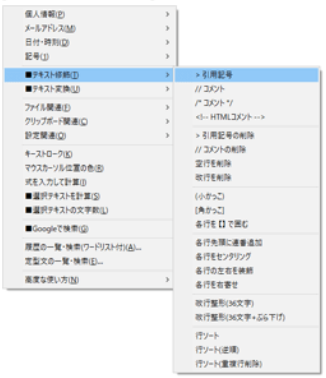


［クリップボード履歴(シンプルモード)］

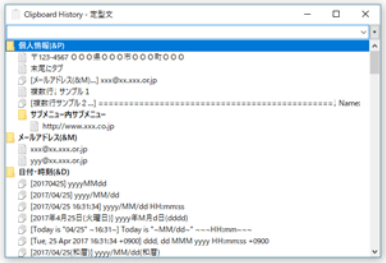
［クリップボードマネージャー］



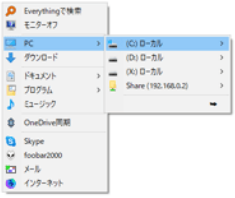
［定型文＆コマンド文］



［クリップボードマネージャー(定型文)］



［定型文(ランチャー)］



［クリップボードマネージャー(シンプル)］

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

入力作業がとても便利になりますので、この機会に使ってみてください。

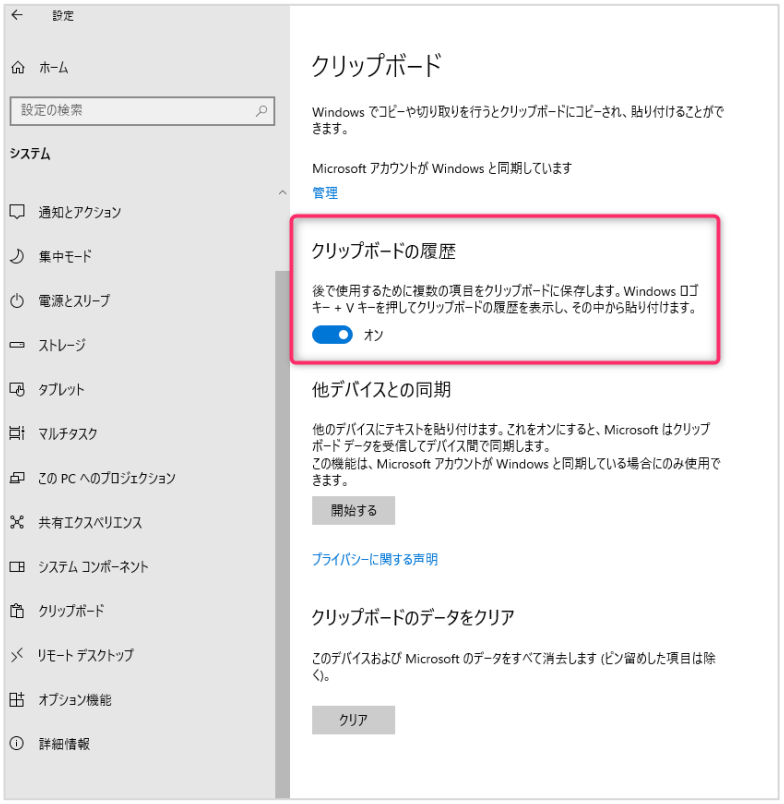
Vector で配布されています。
https://www.vector.co.jp/soft/winnt/util/se512783.html?srsltid=AfmBOoqW-y3m8drtqUrurVNN53RTCPjci1_pHFn3OLuMxWx9OEZEhRmr

ちなみに、ウィンドウズの場合はフリーソフトを使わなくてもある程度のクリップボードの履歴が残っていて呼び出すことができます。

キーボードのウィンドウズマークと「V」を押すと表示されますから、今まで使ったことがなかった方は使ってみてください。

※もし出ない方は機能が OFF になっているかもしれません。ウィンドウズの「設定」→「システム」→「クリップボード」の順に進み、「クリップボードの履歴」の項目を「オン」に切り替えてください。

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.



Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.

Mac 版の環境については詳しくないのでご紹介できないのですが、

・Clipy　https://clipy.softonic.jp/mac
・Maccy　https://maccy.app/

といったフリーソフトがあります。

私がご紹介したクリップボードヒストリーと似た動作をしますので、ぜひ取り入れてください。

作者：【瞬速 for AI】阿部真由美
メールアドレス：info@e-carat.info
ホームページ：「瞬速　ウェブ講座」
https://1w-web.biz/

Copyright (C) e-carat. All Rights Reserved.